

アシテア[®]ダニ舌下錠^{*}の 治療を受けられる患者さんへ

* 効能・効果:ダニ抗原によるアレルギー性鼻炎に対する減感作療法



監修

千葉ろうさい病院 病院長

岡本 美孝 先生

アシテア[®]ダニ舌下錠の治療を受けられる患者さんのための指導箋です。

患者さんにお渡しいただくとともに、飲み忘れを防ぐため、
「服用記録・症状日誌」をご活用いただくようご指導ください。

アシテア[®]ダニ舌下錠の 治療を受けられる患者さんへ



アシテア[®]ダニ舌下錠は、ダニによるアレルギー性鼻炎を治療するための免疫療法のお薬です。

お薬を初めて服用する人は、検査を受けて、
ダニ抗原によるアレルギー性鼻炎の診断を受けることが必要です

服用方法 ▶ 1日1回、服用します。

- ① お薬を舌の下に入れます。※口の中が潤いているときは、事前に飲み物で口の中を湿らせてください。
- ② お薬が完全に溶けるまでそのままにし(約2分間)、唾液を飲み込みます。
- ③ うがいや飲食を控えます(溶解後5分間)。



注意事項

- ◎ お薬が完全に溶ける前に飲み込んだ場合は、お薬の通過道に影響するおそれがあるので、水などの飲み物を飲んでください。
- ◎ お薬が溶けてから5分間は、お薬の効果に影響しないように、うがいや飲食をしないでください。
- ◎ 服用前^{注)}、及び服用後2時間は、激しい運動、アルコール摂取、入浴等を避けるようにし、服用後2時間以降もこれらを行う場合には、アナフィラキシー等の副作用の発現に注意してください。
- ◎ 副作用等により、増量や服用してよいか迷ったときには服用前に医師に相談してください。
- ◎ アシテア[®]ダニ舌下錠を他の人に渡さないでください。
- ◎ アレルギー症状の有無にかかわらず、数年間にわたり、毎日継続して服用する必要があります。
- ◎ 少なくとも月に1度は受診してください。

注) 服用前に激しい運動、アルコール摂取、入浴等を行った場合は十分に落ち着いてから服用してください。

服用期間とスケジュール ▶ 1日目は医療機関、その後は自宅で服用します。



※ 副作用等により、増量期を長くとることがあります。



● 次のようなときは、服用前に医師に相談してください

- 風邪や喘息の症状が激しいとき
- 口の中に傷や異常があるとき、歯を抜いたとき
- 増量期に口の中の腫れ、のどの腫れ、吐き気、消化不良などの症状があらわれたとき
- 服用を長期に中断した後に再開するとき

なお、服用を中止する場合も医師に相談してください。

患者さんが未成年である等、
症状や口の中の状態を
判断できない場合は、
保護者が確認した上で
医師に相談してください。



服用後、特に気をつけること



アシテア[®]ダニ舌下錠の服用後30分間及び治療開始初期は、次のような症状に注意してください。症状があらわれた場合は、直ちに医療機関を受診してください。

アナフィラキシーの前兆症状
(お薬を服用してから30分以内にあらわれることが多い)

- 皮膚のかゆみ、じんま疹、紅斑・皮膚の発赤等
- 胃痛、吐き気、嘔吐、下痢等
- 視覚の異常、視野が狭くなる等
- 咳、声のかすれ、鼻がつまる、くしゃみ、のどのかゆみ、胸のしめつけ感、息苦しさ、喘鳴(ゼーゼー、ヒューヒューという呼吸音)、チアノーゼ(皮膚や粘膜が青紫色になる)等
- 脈が速くなる、不整脈、血圧が下がる等
- 不安、恐怖感、意識がぼんやりする等



アシテア[®]を服用される患者さんや保護者の方へ

本剤の服用を受ける際には、事前に本カードをご提示ください。本剤服用後30分間および治療開始初期は、次のような症状に注意してください。
● 症状があらわれた場合、直ちに医療機関を受診してください。↓

アナフィラキシーの前兆症状 (薬を服用してから30分以内にあらわれることが多い)

皮膚の症状	皮膚のかゆみ、じんま疹、紅斑・皮膚の発赤等
消化器の症状	胃痛、吐き気、嘔吐、下痢等
視覚の症状	視覚の異常、視野が狭くなる等
呼吸器の症状	咳、声のかすれ、鼻がつまる、くしゃみ、のどのかゆみ、胸のしめつけ感、息苦しさ、喘鳴(ゼーゼー、ヒューヒューという呼吸音)、チアノーゼ(皮膚や粘膜が青紫色になる)等
循環器の症状	脈が速くなる、不整脈、血圧が下がる等
その他の症状	不安、恐怖感、意識がぼんやりする等

厚生労働省 医薬品情報提供部(原研)「アシアナフィ」承認(2019年3月)(令和元年9月20日)

私はアレルゲン免疫療法を行っています。

フリガナ	氏名	生年月日
氏名	年 月 日 生	
医療機関名/所在地先	電話	() - () - ()
区かかり郵便番号	医療機関名	
アシアナフィ受診済医療機関番号	電話	() - () - ()
地域外連絡先	電話	() - () - ()

本カードは必ず携帯してください SHONOGI RMP ACT-C-0005(V05) 2023年9月再発行

画像はイメージです(最新のものとは異なる場合があります)

【患者携帯カード】は常に携帯してください。

特に緊急性の高いアレルギー症状が出た場合 下記のような症状に一つでも当てはまる場合、救急車を呼ぶなど迅速な対応が必要です。ご家族の方も注意してください。

- 循環器の症状:** 脈が速くなる、不整脈、血圧が下がる
- 呼吸器の症状:** 咳、声のかすれ、鼻がつまる、くしゃみ、のどのかゆみ、胸のしめつけ感、息苦しさ、喘鳴(ゼーゼー、ヒューヒューという呼吸音)、チアノーゼ(皮膚や粘膜が青紫色になる)
- 消化器の症状:** 胃痛、吐き気、嘔吐、下痢
- その他の症状:** 意識がぼんやりする

お薬の飲み方を間違ったり、飲み忘れてしまった場合

- **完全に溶ける前に飲み込んだ場合**
 - ▶ お薬の通り道に影響するおそれがあるので、水などの飲み物を飲んでください。
 - ▶ 再度、服用しないでください。
 - ▶ 翌日はその日の1回分の用量を服用してください(2回分は服用しないでください)。
- **誤って多く服用した場合**
 - ▶ 直ちに吐き出して、うがいをしてください。
 - ▶ 翌日、改めて1回分の用量を服用してください。
 - ▶ 増量期(投与2日目)に誤って多く服用した場合、翌日は2日目に服用する予定だった用量を服用してください。
- **飲み忘れた場合**
 - ▶ 飲み忘れても、その日のうちに気づいた場合、その日の用量を服用してください。
 - ▶ 翌日に気づいた場合は、1回分だけ服用してください(2回分は服用しないでください)。
 - ▶ 増量期(投与2日目)に飲み忘れた場合、翌日は2日目に服用する予定だった用量を服用してください。



塩野義製薬株式会社



SHIONOGI

製造販売元 [文献請求先及び問い合わせ先]

塩野義製薬株式会社

大阪市中央区道修町3-1-8

医薬情報センター TEL 0120-956-734

ACT-C-0003 (V06) 審144968
2024年10月作成